

「NPO法人みんなのプロジェクト」は

重い障がいのある“当事者”たちが理事となり、自分たちが暮らしていくための方法とともに探り考える組織です。

重い障がいのある当事者の暮らしは、常に家族介護がベースとなり成立しています。しかし、「親なき後」の課題は、介護者である親が高齢化により介護できなくなるギリギリまで手付かずのまま、そうなった時に施設への暮らしへ移行すればよいとされているように思います。しかし、そこに“居る”当事者たちの声なき声は「私の暮らし方を、私たち抜きに決めないで！」と響いているのではないのでしょうか。

「NPO法人みんなのプロジェクト」は、重い障がいのある当事者たちが、理事となって組織されています。自分たちが暮らしていくための方法を探り共に考えて、どのような仕組みがあれば持続可能な暮らしとなるのか、自らの暮らしの場をオープンにして課題を共有し、助け合いながら取り組んでいくことを目指すプロジェクトです。

「Shared Home はたけのいえ」の運用

課題を共有し、ともに考え、助け合う

当事者の住まい方のモデルケースへ

ノウハウを活かし、第二・第三の「はたけのいえ」をつくる

「みんなのプロジェクト」について

代表理事 水野ひかり

重い障がいのある私たちの地域生活は、フォーマル支援となる医療や福祉の社会資源と、ボランティアなどのインフォーマル支援を自由に受けられ、“人” “もの” “つながり” をシェアして暮らせる住空間が理想です。暮らしの中で、自分の想いや願いを伝え、仲間たちと共に学ぶことができる経験も必要です。「Shared Home はたけのいえ」は、それを実践していきます。この場所が人と人とのつながりを育み、互いを思いやる優しさを生む“畑”となっていくことを願っています。一人一人の“いのち”が、かけがえのないものであるという価値観により、“はたらき” “暮らし” をテーマとし、地域共生社会に向けた「みんなのプロジェクト」なのです。



NPO法人 みんなのプロジェクト

〒814-0172 福岡市早良区梅林 6-23-3

TEL 092-874-3051 FAX 092-874-3052

MAIL hatakenoie2020@gmail.com HP minnanoproject.org

お振込先

ゆうちょ銀行 店名：七四八 記号：17440 口座番号：89850401 口座名義：トクヒ）ミンナプロジェクト



- 重い障がいのある“当事者”の暮らし方をみんなで考える -



Shared Home はたけのいえ

「どんなに病気や障がいがあっても、地域で暮らし続けたい！」

そんな願いを持った当事者たちの住まい方として、“人” “もの” “空間” をシェアし、助け合いながら共生・共存して暮らす居住空間です。ここは、単に「箱物（ハウス）」をシェアするというだけでなく、「つながり（ホーム）」をシェアすることを大切に考えています。

畑に蒔かれた種が芽吹き、やがてツルが伸び大きな葉を茂らせて、豊かな実りの収穫を与えてくれるような、そんな“はたけのいえ”として、この場所が憩いのオアシスとなり、人と人がつながり合い、優しさの実りを育てていく場所となることを心から願っています。

公 フォーマル支援

社会資源として広がる医療や福祉の“公助”によるフォーマル支援（訪問診療・訪問看護・重度訪問介護・相談支援など）を利用して、暮らしの支援ベースを組み立てます。

自 エンパワメント

彼らの暮らしの中で立ち上がる意思（自己選択や自己決定）について、「重症心身障がい児者当事者研究」を行い、エンパワメントされた彼らの“自助”によるコミュニケーションを形成します。

共 インフォーマル支援

地域での様々な人の繋がりを大切に、互いの“共助”意識を高めるためのイベントや学習会を開催して、ボランティアなどのインフォーマル支援を整え、信頼と相互扶助の関係性を創り出します。

協 シェア文化

「Shared Home はたけのいえ」としてシェア文化を広げ、そこで暮らす一人一人が地域の住人として認知され、“協力”し合う第三の住まい方を提案します。

地域の中で暮らし続けていくためのわたしたちの課題

- 1 家族介護が生活の要（かなめ）ではなく、それに代わる支援の在り方を、どうすれば構築できるの？
- 2 言語コミュニケーションが困難な私たちが、どうすれば自分の考えや想いを伝えることができるの？
- 3 私たちにできる“はたらき”があるはず。社会参加するためにはどうすればいいの？

これらの課題を、ともに考え、共有し、助け合いながら取り組んでいきます。